長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2020年第42週　　2020年10月12日（月）～2020年10月18日（日）　　2020年10月22日作成

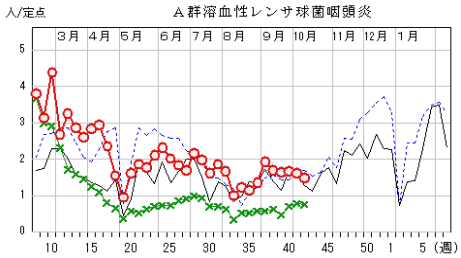
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位３疾患）の発生状況

（１）　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第42週の報告数は65人で、前週より6人少なく、 定点当たりの報告数は1.48であった。

年齢別では、10～14歳（12人）、５歳（11人）、４歳（7人）の順に多かった。

定点あたり報告数の多い保健所は、県央保健所（8.00）、県南保健所（1.60）であった。

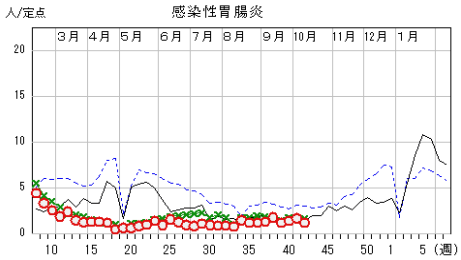


（２）　感染性胃腸炎

第42週の報告数は52人で、前週より22人少なく、 定点当たりの報告数は1.18であった。

年齢別では、10～14歳（13人）、８歳（7人）、１歳（6人）の順に多かった。

定点あたり報告数の多い保健所は、県北保健所（4.33）、県央保健所（2.33）、上五島保健所（2.00）であった。

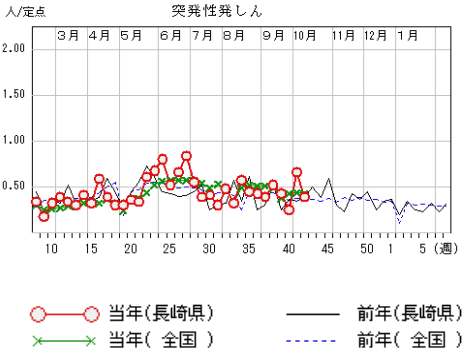


（３）　突発性発しん

第42週の報告数は17人で、前週より12人少なく、 定点当たりの報告数は0.39であった。

年齢別では、１歳未満（９人）、１歳（7人）、２歳（１人）の順に多かった。

定点あたり報告数の多い保健所は、県南保健所（1.00）、佐世保市保健所（0.67）、長崎市保健所（0.60）であった。



☆上位３疾患の概要

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第42週の報告数は、前週より6人減少して65人となり、定点当たりの報告数は1.48でした。地区別にみると県央地区（8.00）、県南地区（1.60）は他の地区より多く、県央地区は警報レベル8.0となっていますので、今後の動向に注意しましょう。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いやうがいを励行し、感染防止に努めましょう。

【感染性胃腸炎】
第42週の報告数は、前週より22人減少して52人となり、定点当たりの報告数は1.18でした。地区別にみると、県北地区（4.33）、県央地区（2.33）、上五島地区（2.00）は他の地区より多くなっていますので、今後の動向に注意しましょう。
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。原因微生物のうち、ロタウイルスについてはすでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。特に乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

【突発性発しん】
第42週の報告数は、前週より12人減少して17人となり、定点当たりの報告数は0.39でした。地区別にみると、県南地区（1.00）、佐世保地区（0.67）、長崎地区（0.60）は他の地区より多くなっていますので、今後の動向に注意しましょう。
本疾患は、乳児期に発症するのを特徴とする熱性発疹性疾患で、原因の多くはヒトヘルペスウイルス６および７です。38度以上の発熱が3日間ほど続いた後、解熱とともに鮮紅色の斑丘疹が体幹を中心に顔面、四肢に数日間出現します。随伴症状として、下痢、眼瞼浮腫、大泉門膨隆、リンパ節腫脹などがあげられますが、多くは発熱と発疹のみで経過します。ほとんどが2歳未満に罹患し、予後良好のため、対症療法にて経過観察するのみで、特に予防が問題となることもない疾患です。

☆トピックス：マダニやツツガムシの活動が活発な時期です。ご注意ください。

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、食品等に発生するコナダニや衣類、寝具に発生するヒョウダニなど、家庭内に生息するダニとは全く種類が異なります。野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。
マダニ類は、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などを媒介し、ツツガムシ類はその名のとおりつつが虫病を媒介します。
2020年第42週までに、県内では11例の日本紅斑熱、6例の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）および2例のつつが虫病の患者が発生しています。
春から秋（3月から11月）にかけては、マダニ等の活動が活発になる時期ですので、野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避けて感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがありますので、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。 また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。

（参考）長崎県医療政策課　ダニ媒介性感染症「ダニ媒介性感染症の予防」
https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/kansenshou/tick/

（参考）国立感染症研究所　昆虫医科学部ホームページ「マダニ対策、今できること」
http://www.niid.go.jp/niid/images/ent/PDF/170511madanitaisaku.pdf

長崎県におけるダニ媒介感染症の発生件数

年	2016	2017	2018	2019	2020（～第42週）
SFTS	2	11	4	8	6
日本紅斑熱	8	20	19	15	11
つつが虫病	12	8	8	1	2

◆全数届出の感染症

1類感染症：報告なし

2類感染症: 結核　患者　男性　(30代・1名、80代以上・1名)

3類感染症：報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症（全数把握対象）：報告なし

※新型コロナウイルス感染症の発生件数については、長崎県ホームページに掲載しています。

◆定点把握の対象となる5類感染症

（1）　疾病別・週別発生状況　　（第37～42週、9/7～10/18）

疾　患　名	定点当たり患者数					
	37週	38週	39週	40週	41週	42週
	9/7～	9/14～	9/21～	9/28～	10/5～	10/12～
インフルエンザ						
ＲＳウイルス感染症		0.09	0.07	0.11	0.02	0.02
咽頭結膜熱	0.20	0.18	0.11	0.20	0.09	0.23
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1.93	1.70	1.64	1.66	1.61	1.48
感染性胃腸炎	1.30	1.80	1.18	1.41	1.68	1.18
水痘	0.05	0.09	0.14	0.05	0.05	0.11
手足口病	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07
伝染性紅斑（リンゴ病）		0.02				
突発性発しん	0.39	0.52	0.43	0.25	0.66	0.39
ヘルパンギーナ	0.23	0.20	0.02	0.11	0.05	
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.09	0.05	0.05	0.05	0.05	0.07
急性出血性結膜炎						
流行性角結膜炎	0.13			0.25	0.38	0.38
細菌性髄膜炎				0.08		0.08
無菌性髄膜炎		0.08	0.08			
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.08		0.25	0.17	0.17
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						

（2）　疾病別・保健所管内別発生状況　　（第42週、10/12～10/18）　　※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾　患　名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ											
ＲＳウイルス感染症	0.02		0.10								
咽頭結膜熱	0.23		0.30	1.50		0.17	0.40				0.50
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1.48	0.33	0.10			8.00	1.60	1.33	0.25		0.50
感染性胃腸炎	1.18	1.17	0.90		0.50	2.33	0.60	4.33		2.00	
水痘	0.11	0.67			0.25						
手足口病	0.07		0.10	0.50					0.25		
伝染性紅斑（リンゴ病）											
突発性発しん	0.39	0.67	0.60			0.33	1.00				
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.07		0.10				0.40				
急性出血性結膜炎											
流行性角結膜炎	0.38	1.00	0.67								
細菌性髄膜炎	0.08		0.33								
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.17			2.00							
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											